

令和5年度 青梅市決算の概要

(目次)	(頁)
1 各会計決算収支の状況	2
<繰出金の決算状況>	2
2 一般会計決算収支の状況	4
3 歳入の状況	6
<市税の状況>	8
4 歳出の状況	10
<款別歳出内訳>	10
<性質別歳出内訳>	10
5 財政指標等	12
(1) 経常収支比率等の状況	12
(2) 健全化判断比率の状況	12
(3) 市債現在高の状況	14
(4) 基金現在高の状況	16
6 特別会計決算収支の状況	18
(1) 国民健康保険特別会計	18
(2) 後期高齢者医療特別会計	18
(3) 介護保険特別会計	18
7 下水道事業会計決算収支の状況	20
8 モーターボート競走事業会計決算収支の状況	22
9 病院事業会計決算収支の状況	24

企画部財政課

1 各会計決算収支の状況

※文中金額は万円未満四捨五入

令和5年度における各会計の決算収支は、「表1」のとおりである。

(1) 一般会計・特別会計の合計決算額は、前年度と比較して、歳入が0.9%の増、歳出が3.1%の増となった。

ア 歳入：923億8,408万円（前年度915億2,920万円）

イ 歳出：900億992万円（前年度873億941万円）

(2) 一般会計および特別会計の実質収支（歳入歳出差引額から翌年度への繰越財源を控除した決算額）は、黒字またはゼロの決算となり、実質収支の総額は、前年度と比較して、18億217万円、44.0%の減となった。

(3) 下水道事業会計の収益的収支では、収入が38億6,001万円、支出が38億1,492万円となった。一方、資本的収支は、支出の22億4,414万円に対し、収入が9億6,256万円となり、前年度同意分による借入債等を除いた不足額は、損益勘定留保資金等により補てんした。

(4) モーターボート競走事業会計の収益的収支では、収入が872億1,192万円、支出が858億5,231万円となった。一方、資本的収支は、支出の2,343万円に対し、収入はなかったため、不足額は、損益勘定留保資金等により補てんした。

(5) 病院事業会計の収益的収支では、収入が184億6,558万円、支出が190億2,173万円となった。一方、資本的収支は、支出の115億3,481万円に対し、収入が97億8,476万円となり、不足額は、建設改良積立金および損益勘定留保資金等により補てんした。

<繰出金の決算状況>

令和5年度における繰出金は、「表2」のとおりである。

(1) 一般会計から特別会計および企業会計への繰出総額は、78億5,738万円となり、前年度と比較して、5億1,104万円、7.0%の増となった。

(2) 一般会計から各会計への繰出金は、国民健康保険会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計および病院事業会計で増、下水道事業会計で減となった。

(3) モーターボート競走事業会計から、一般会計へ36億円、病院事業会計へ5億円の繰出しを行った。一般会計への繰出金は、前年度と比較して、10億3,455万円、40.3%の増となった。

表1 各会計決算収支

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	令和5年度決算額					翌年度繰越額	実質収支	
		歳入決算額	収入率	歳出決算額	執行率	形式収支			
一般会計	65,527,475	63,183,525	96.4	61,008,597	93.1	2,174,928	83,441	2,091,487	
特別会計	国民健康保険会計	14,796,139	14,288,863	96.6	14,216,105	96.1	72,758	0	72,758
	後期高齢者医療会計	3,833,866	3,826,285	99.8	3,826,285	99.8	0	0	0
	介護保険会計	11,365,025	11,085,405	97.5	10,958,937	96.4	126,468	0	126,468
合 計	95,522,505	92,384,078	96.7	90,009,924	94.2	2,374,154	83,441	2,290,713	
下水道事業会計	収益	(3,911,168)							
	資本	3,911,168	3,860,008	98.7	3,814,918	97.5	45,090	0	—
モーターボート競走事業会計	収益	(1,314,723)							
	資本	2,507,680	962,557	73.2	2,244,143	89.5	△ 1,281,586	0	—
モーターボート競走事業会計	収益	(85,889,684)							
	資本	85,889,684	87,211,915	101.5	85,852,308	100.0	1,359,607	0	—
病院事業会計	収益	(0)							
	資本	29,869	0	—	23,431	78.4	△ 23,431	0	—
病院事業会計	収益	(18,283,162)							
	資本	19,308,491	18,465,575	101.0	19,021,728	98.5	△ 556,153	0	—
病院事業会計	収益	(10,335,918)							
	資本	12,107,122	9,784,755	94.7	11,534,809	95.3	△ 1,750,054	435,300	—

注 下水道事業会計、モーターボート競走事業会計および病院事業会計の（ ）内は、収入の予算現額である。

表2 繰出金決算状況

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
一般会計	7,857,380	7,346,341	511,039	7.0	
内 訳	国民健康保険会計	1,964,362	1,748,677	215,685	12.3
	後期高齢者医療会計	1,880,027	1,791,386	88,641	4.9
	介護保険会計	1,657,719	1,612,907	44,812	2.8
	下水道事業会計	1,167,585	1,186,976	△ 19,391	△ 1.6
	病院事業会計	1,187,687	1,006,395	181,292	18.0
モーターボート競走事業会計	4,100,000	2,565,449	1,534,551	59.8	
一 般 会 計	3,600,000	2,565,449	1,034,551	40.3	
病院事業会計	500,000	0	500,000	皆増	

2 一般会計決算収支の状況

令和5年度における一般会計の決算収支は、「表3」のとおりである。

- (1) 歳入総額(A)は631億8,353万円、歳出総額(B)は610億860万円となり、前年度と比較して、歳入は0.5%の増、歳出は3.5%の増となった。
- (2) 歳入歳出差引残額である形式収支(C) 21億7,493万円から翌年度への繰越額(D) 8,344万円を控除した実質収支(E)は、20億9,149万円となった。
- (3) 実質収支(E)から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支(F)は、16億7,872万円のマイナスとなった。
- (4) 単年度収支(F)に、財政調整基金積立金(G) 18億8,711万円を加えた実質単年度収支(J)は、2億839万円のプラスとなった。
- (5) 実質単年度収支(J)から、ふれあい福祉基金取崩額(K) 2,544万円を差し引いた実質単年度収支(試算)についても、1億8,295万円のプラスとなった。

表3 一般会計決算収支の推移

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳 入 総 額 (A)	68,437,435	62,081,371	62,857,034	63,183,525
歳 出 総 額 (B)	66,623,391	58,615,463	58,959,941	61,008,597
形 式 収 支 (A) - (B) = (C)	1,814,044	3,465,908	3,897,093	2,174,928
翌年度へ繰り越すべき 財源 (D)	229,362	593,102	126,884	83,441
実 質 収 支 (C) - (D) = (E)	1,584,682	2,872,806	3,770,209	2,091,487
単 年 度 収 支 (F)	867,879	1,288,124	897,403	△ 1,678,722
財 政 調 整 基 金 積 立 金 (G)	358,402	2,100,000	1,437,128	1,887,113
市 債 繰 上 償 還 額 (H)	0	0	0	0
財 政 調 整 基 金 取 崩 額 (I)	0	0	0	0
実 質 単 年 度 収 支 (F) + (G) + (H) - (I) = (J)	1,226,281	3,388,124	2,334,531	208,391
ふれあい福祉基金取崩額 (K)	1,826	3,460	1,658	25,437
公共施設整備基金取崩額 (L)	0	0	0	0
実質単年度収支(試算) (J) - (K) - (L)	1,224,455	3,384,664	2,332,873	182,954

3 歳入の状況

令和5年度における一般会計の歳入内訳は、「表4」のとおりである。

- (1) 歳入内訳では、国庫支出金などが減となったものの、繰越金やモーターボート競走事業収入などが増となり、前年度と比較して、3億 2,649万円、0.5%の増となった。
 - ア 市税は、200億 6,018万円となり、前年度と比較して、6,547万円、0.3%の増となった。
 - イ 地方消費税交付金は、31億 7,875万円となり、前年度と比較して、5,924万円、1.8%の減となった。
 - ウ 地方交付税のうち普通交付税は、基準財政収入額が前年度に比べ増となったものの、基準財政需要額の増がこれを上回ったことから、50億 9,211万円となり、前年度と比較して、1億 2,943万円、2.6%の増となった。
- (2) 一般財源は、301億 168万円となり、前年度と比較して、3億 3,918万円、1.1%の増となった。また、歳入総額に占める割合は、前年度比0.3ポイント増の47.6%となった。
 - ア 国庫支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等が増となったものの、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金や新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金等の減により、前年度と比較して、7億 5,018万円、5.1%の減となった。
 - イ 都支出金は、総合交付金や市街地再開発事業補助金等の減により、前年度と比較して、2億 3,210万円、2.9%の減となった。
 - ウ 財産収入は、土地売却収入等の減により、前年度と比較して、9,780万円、54.5%の減となった。
 - エ 繰入金は、職員退職手当基金繰入金等が減となったものの、介護保険特別会計繰入金等の増により、前年度と比較して、6,663万円、13.3%の増となった。
 - オ 市債は、臨時財政対策債等の減により、前年度と比較して、4億 5,959万円、36.7%の減となった。
- (3) 一般財源を除く歳入は、330億 8,184万円となり、前年度と比較して、1,269万円の減となった。
 - ア 国庫支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等が増となったものの、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金や新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金等の減により、前年度と比較して、7億 5,018万円、5.1%の減となった。
 - イ 都支出金は、総合交付金や市街地再開発事業補助金等の減により、前年度と比較して、2億 3,210万円、2.9%の減となった。
 - ウ 財産収入は、土地売却収入等の減により、前年度と比較して、9,780万円、54.5%の減となった。
 - エ 繰入金は、職員退職手当基金繰入金等が減となったものの、介護保険特別会計繰入金等の増により、前年度と比較して、6,663万円、13.3%の増となった。
 - オ 市債は、臨時財政対策債等の減により、前年度と比較して、4億 5,959万円、36.7%の減となった。

表4 歳入内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	20,060,177	31.7	19,994,706	31.8	65,471	0.3
2 地方譲与税	293,120	0.5	290,850	0.5	2,270	0.8
3 利子割交付金	32,633	0.0	28,577	0.0	4,056	14.2
4 配当割交付金	173,199	0.3	151,642	0.2	21,557	14.2
5 株式等譲渡所得割交付金	185,038	0.3	115,844	0.2	69,194	59.7
6 法人事業税交付金	548,752	0.9	439,775	0.7	108,977	24.8
7 地方消費税交付金	3,178,747	5.0	3,237,988	5.2	△ 59,241	△ 1.8
8 コール場利用税交付金	58,375	0.1	59,504	0.1	△ 1,129	△ 1.9
9 自動車取得税交付金	2,045	0.0	12	0.0	2,033	16,941.7
10 環境性能割交付金	76,448	0.1	69,464	0.1	6,984	10.1
11 地方特例交付金	136,571	0.2	137,714	0.2	△ 1,143	△ 0.8
12 地方交付税	5,341,632	8.5	5,219,499	8.3	122,133	2.3
(1) 普通交付税	5,092,105	8.1	4,962,680	7.9	129,425	2.6
(2) 特別交付税	249,469	0.4	256,719	0.4	△ 7,250	△ 2.8
(3) 震災復興特別交付税	58	0.0	100	0.0	△ 42	△ 42.0
13 交通安全対策特別交付金	14,945	0.0	16,928	0.0	△ 1,983	△ 11.7
一般財源 計 (1～13)	30,101,682	47.6	29,762,503	47.3	339,179	1.1
14 分担金・負担金	440,783	0.7	447,615	0.7	△ 6,832	△ 1.5
15 使用料・手数料	960,798	1.5	989,475	1.6	△ 28,677	△ 2.9
16 国庫支出金	13,855,317	21.9	14,605,496	23.2	△ 750,179	△ 5.1
17 都支出金	7,908,427	12.5	8,140,531	13.0	△ 232,104	△ 2.9
18 財産収入	81,481	0.1	179,276	0.3	△ 97,795	△ 54.5
19 寄付金	56,121	0.1	57,518	0.1	△ 1,397	△ 2.4
20 繰入金	568,293	0.9	501,664	0.8	66,629	13.3
21 繰越金	3,897,093	6.2	3,465,907	5.5	431,186	12.4
22 諸収入	4,519,816	7.2	3,453,748	5.5	1,066,068	30.9
モーターボート競走事業収入	3,600,000	5.7	2,565,449	4.1	1,034,551	40.3
23 市 債	793,714	1.3	1,253,301	2.0	△ 459,587	△ 36.7
歳入合計	63,183,525	100.0	62,857,034	100.0	326,491	0.5

<市税の状況>

令和5年度における市税の内訳は、「表5」のとおりである。
市税全体では、前年度と比較して、6,547万円、0.3%の増となった。

- (1) 個人市民税は、営業所得が減となったものの、給与所得の増により、76億1,452万円となり、前年度と比較して、1,418万円、0.2%の増となった。
- (2) 法人市民税は、一部企業の業績の影響により、9億6,611万円となり、前年度と比較して、4,328万円、4.3%の減となった。
- (3) 固定資産税は、85億6,119万円となり、前年度と比較して、1,616万円、0.2%の増となった。
 - ア 土地については、宅地等の増加はあったが、微減となった。
 - イ 家屋については、木造の新築家屋等の増加により、前年度と比較して、5,046万円、1.3%の増となった。
 - ウ 償却資産については、設備投資の鈍化等により、前年度と比較して、3,126万円、2.8%の減となった。
- (4) 軽自動車税は、課税台数の増加等により、前年度と比較して、889万円、2.7%の増となった。
- (5) 市たばこ税は、たばこの売渡本数の増加により、前年度と比較して、1,852万円、2.0%の増となった。
- (6) 入湯税は、入湯客の増加により、前年度と比較して、127万円、23.0%の増となった。
- (7) 都市計画税は、固定資産税と同様の理由により、1,010万円、0.7%の増となった。

表5 市税の内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度			令和4年度			対前年度比較		
	決 算 額	構 成 比	収 納 率	決 算 額	構 成 比	収 納 率	増 減 額	増 減 率	
現 年 分	1 市 民 税	8,580,627	42.7	98.6	8,609,723	43.1	98.5	△ 29,096	△ 0.3
	(1) 個人市民税	7,614,516	37.9	98.5	7,600,333	38.0	98.4	14,183	0.2
	(2) 法人市民税	966,111	4.8	99.5	1,009,390	5.1	99.2	△ 43,279	△ 4.3
	2 固定資産税	8,561,189	42.7	99.0	8,545,033	42.7	99.1	16,156	0.2
	(1) 土 地	3,626,692	18.1	99.0	3,626,756	18.1	99.1	△ 64	△ 0.0
	(2) 家 屋	3,825,997	19.1	99.0	3,775,542	18.9	99.1	50,455	1.3
	(3) 償 却	1,083,675	5.4	99.0	1,114,931	5.6	99.1	△ 31,256	△ 2.8
	(4) そ の 他	24,825	0.1	100.0	27,804	0.1	100.0	△ 2,979	△ 10.7
	3 軽自動車税	333,248	1.7	98.5	324,359	1.6	98.7	8,889	2.7
	4 市たばこ税	923,009	4.6	100.0	904,487	4.5	100.0	18,522	2.0
5 鉱 産 税	2	0.0	100.0	2	0.0	100.0	0	0.0	
6 入 湯 税	6,791	0.0	100.0	5,522	0.0	100.0	1,269	23.0	
7 都市計画税	1,519,084	7.6	98.8	1,508,987	7.6	98.9	10,097	0.7	
現 年 分 計	19,923,950	99.3	98.8	19,898,113	99.5	98.9	25,837	0.1	
滞 納 繰 越 分	136,227	0.7	34.1	96,593	0.5	33.0	39,634	41.0	
合 計	20,060,177	100.0	97.6	19,994,706	100.0	97.9	65,471	0.3	

4 歳出の状況

<款別歳出内訳>

- (1) 総務費は、戸籍住民基本台帳経費の増等により前年度比 4.8%の増となった。
- (2) 民生費は、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業経費の増等により前年度比6.3%の増となった。
- (3) 衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業経費や補助金等返還経費の減等により前年度比 14.3%の減となった。
- (4) 農林水産業費は、治山林道振興経費の増等により前年度比 11.2%の増となった。
- (5) 商工費は、新型コロナウイルス対策地域産業支援事業経費の減等により前年度比 5.3%の減となった。
- (6) 消防費は、消防自動車購入経費の減等により前年度比 6.7%の減となった。
- (7) 教育費は、旧永山ふれあいセンター施設整備経費の増等により前年度比 3.1%の増となった。

<性質別歳出内訳>

- (1) 消費的経費は、前年度比 2.3%の増、構成比は 0.8ポイント減の 74.6%となった。
 - ア 人件費は、定年引上げ制度がスタートしたことによる一般職退職手当の減等により前年度比 0.9%の減となった。
 - イ 物件費は、旧永山ふれあいセンターの解体工事にかかる経費の増等により前年度比 1.2%の増となった。
 - ウ 維持補修費は、都市計画道路3・5・5号線築造経費の増等により前年度比 106.9%の増となった。
 - エ 扶助費は、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業経費の増等により前年度比 5.9%の増となった。
 - オ 補助費等は、補助金等返還経費や新型コロナウイルス対策地域産業支援事業経費の減等により前年度比 5.0%の減となった。
- (2) 投資的経費は、青梅駅前地区市街地再開発事業経費の減等により前年度比 14.0%の減、構成比は 1.0ポイント減の 5.2%となった。
- (3) 公債費は、元金償還金の減等により前年度比 1.2%の減となった。積立金は、財政調整基金経費や公共施設整備基金経費の増等により前年度比 47.2%の増となった。投資・出資・貸付金は、病院事業経費の増により前年度比 62.9%の増となった。繰出金は、国民健康保険特別会計繰出金の増等により前年度比 6.8%の増となった。

表6 款別歳出内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	378,892	0.6	390,353	0.7	△ 11,461	△ 2.9
2 総務費	5,433,426	8.9	5,186,881	8.8	246,545	4.8
3 民生費	29,648,654	48.6	27,883,561	47.3	1,765,093	6.3
4 衛生費	6,309,440	10.4	7,358,949	12.5	△ 1,049,509	△ 14.3
5 労働費	10,557	0.0	9,760	0.0	797	8.2
6 農林水産業費	260,607	0.4	234,408	0.4	26,199	11.2
7 商工費	669,619	1.1	707,071	1.2	△ 37,452	△ 5.3
8 土木費	3,845,774	6.3	3,847,614	6.5	△ 1,840	0.0
9 消防費	1,736,036	2.9	1,861,243	3.1	△ 125,207	△ 6.7
10 教育費	6,269,842	10.3	6,081,409	10.3	188,433	3.1
11 災害復旧費	10,381	0.0	5,974	0.0	4,407	73.8
12 公債費	3,068,685	5.0	3,105,845	5.3	△ 37,160	△ 1.2
13 諸支出金	3,366,684	5.5	2,286,873	3.9	1,079,811	47.2
歳出合計	61,008,597	100.0	58,959,941	100.0	2,048,656	3.5

表7 性質別歳出内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 消費的経費	45,467,199	74.6	44,465,689	75.4	1,001,510	2.3
(1) 人件費	6,946,064	11.4	7,011,871	11.9	△ 65,807	△ 0.9
(2) 物件費	9,209,809	15.1	9,101,430	15.4	108,379	1.2
(3) 維持補修費	476,353	0.8	230,283	0.4	246,070	106.9
(4) 扶助費	20,656,723	33.9	19,514,372	33.1	1,142,351	5.9
(5) 補助費等	8,178,250	13.4	8,607,733	14.6	△ 429,483	△ 5.0
2 投資的経費	3,166,385	5.2	3,681,719	6.2	△ 515,334	△ 14.0
(1) 普通建設事業費	3,155,952	5.2	3,675,745	6.2	△ 519,793	△ 14.1
ア 補助事業	1,410,116	2.3	2,027,859	3.4	△ 617,743	△ 30.5
イ 単独事業	1,678,312	2.8	1,636,071	2.8	42,241	2.6
ウ その他	67,524	0.1	11,815	0.0	55,709	471.5
(2) 災害復旧事業費	10,433	0.0	5,974	0.0	4,459	74.6
3 その他	12,375,013	20.2	10,812,533	18.4	1,562,480	14.5
(1) 公債費	3,068,685	5.0	3,105,845	5.3	△ 37,160	△ 1.2
(2) 積立金	3,366,684	5.5	2,286,873	3.9	1,079,811	47.2
(3) 投資・出資・貸付金	443,265	0.7	272,165	0.5	171,100	62.9
(4) 繰出金	5,496,379	9.0	5,147,650	8.7	348,729	6.8
歳出合計	61,008,597	100.0	58,959,941	100.0	2,048,656	3.5

5 財政指標等

(1) 経常収支比率等の状況

ア 財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を、基準財政需要額で除した数値の過去3か年の平均値。

令和5年度は、前年度に比べて0.019減の0.780となった。

イ 経常収支比率

財政の弾力性を示す指標で、経常一般財源のうち、経常的経費に充当された一般財源の割合を示すもの。

令和5年度は、前年度に比べて5.8ポイント悪化し99.1%となった。

(2) 健全化判断比率の状況

健全化判断比率とは、地方公共団体の財政の健全化に関する法律にもとづく指標である。

ア 実質赤字比率

標準財政規模に占める一般会計の実質収支額の割合。

令和5年度は、黒字のため表示されない。

なお、黒字比率は、前年度比6.23ポイント減の7.32%である。

イ 連結実質赤字比率

標準財政規模に占める一般会計および特別会計の実質収支額等の割合。

令和5年度は、黒字のため表示されない。

なお、黒字比率は、前年度比7.87ポイント減の73.09%である。

ウ 実質公債費比率

標準財政規模に占める実質公債費充当一般財源等の割合の過去3か年の平均値。

令和5年度は、前年度と同じ2.2%である。

新たに算定対象となった令和5年度と算定から外れた令和2年度を比較すると、公営企業の地方債への繰入金^{の減}や標準財政規模の増などにより、比率が下がっている。

エ 将来負担比率

標準財政規模に占める実質的な将来負担額の割合。

令和5年度は、充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、表示されない。

表8 経常収支比率等の状況

区 分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
財政力指数	0.875	0.860	0.847	0.819	0.799	0.780
経常収支比率(%)	99.6	100.2	99.1	93.1	93.3	99.1

表9-1 令和5年度健全化判断比率および早期健全化基準等

(単位：%)

項 目	健全化判断 比 率	早期健全化 基 準	財政再生 基 準
実質赤字比率	—	11.88	20.00
連結実質赤字比率	—	16.88	30.00
実質公債費比率	2.2	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

表9-2 健全化判断比率の推移

(単位：%)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
実質赤字比率	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—
実質公債費比率	2.6	2.4	2.2	2.2
将来負担比率	—	—	—	—

(3) 市債現在高の状況

ア 令和5年度末の市債現在高は605億6,091万円で、前年度末と比較して、56億1,655万円、10.2%の増となった。

(ア) 一般会計では、市債の発行額が償還額を下回ったことにより、前年度比21億8,358万円、7.1%の減となった。

(イ) 下水道事業会計では、市債の発行額が償還額を下回ったことにより、前年度比3億7,796万円、2.5%の減となった。

(ウ) 病院事業会計では、病院施設整備事業債等の借入額が大幅に増加したことにより、前年度比81億7,809万円、88.3%の増となった。

イ 市債の借入先では、「地方公共団体金融機構」が267億7,212万円（構成比44.2%）を占め、次に「財政融資資金」が254億9,800万円、「東京都」が16億1,802万円となっている。

ウ 市債の利率では、「1.0%以下」が411億6,977万円（構成比68.0%）を占め、次に「2.0%以下」が155億1,507万円、「3.0%以下」が36億3,573万円となっている。

表10-1 市債現在高の状況（会計別）

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度 末現在高	令和5年度		令和5年度 末現在高	年度末比較 増減額	増減率
		発行額	償還額			
一般会計	30,698,842	793,714	2,977,293	28,515,263	△2,183,579	△7.1
下水道事業会計	14,987,048	717,600	1,095,555	14,609,093	△377,955	△2.5
病院事業会計	9,258,463	8,773,300	595,214	17,436,549	8,178,086	88.3
合 計	54,944,353	10,284,614	4,668,062	60,560,905	5,616,552	10.2

表10-2 市債現在高の状況（借入先別）

(単位：千円)

区 分	政 府 資 金			地方公共 団 体 金融機構	東京都	市 中 金融機関	その他	合 計
	財政融資 資 金	旧郵貯 資 金	旧簡保 資 金					
一般会計	13,292,350	282,799	86,208	11,202,642	1,352,126	661,276	1,637,862	28,515,263
下水道会計	9,921,823	0	41,222	4,331,156	265,892	0	49,000	14,609,093
病院会計	2,283,825	0	0	11,238,324	0	3,914,400	0	17,436,549
合 計	25,497,998	282,799	127,430	26,772,122	1,618,018	4,575,676	1,686,862	60,560,905

表10-3 市債現在高の状況（利率別）

(単位：千円)

区 分	1.0%以下	2.0%以下	3.0%以下	4.0%以下	4.0%超	合 計
一般会計	27,165,081	720,230	629,952	0	0	28,515,263
下水道会計	4,781,565	7,000,856	2,619,952	150,177	56,543	14,609,093
病院会計	9,223,124	7,793,987	385,830	0	33,608	17,436,549
合 計	41,169,770	15,515,073	3,635,734	150,177	90,151	60,560,905

(4) 基金現在高の状況

ア 令和5年度末の特定目的基金の現在高は、163億 1,184万円で、前年度末と比較して、27億 9,476万円、20.7%の増となった。

(ア) 令和5年度中の積立額は、財政調整基金や公共施設整備基金などの新規積立金 33億 8,336万円、各基金の運用利子 442万円により、合計 33億 8,778万円となった。

(イ) 令和5年度中の取崩し額は、職員退職手当基金などの取崩しにより、5億 9,302万円となった。

イ 主な基金の現在高では、財政調整基金は、前年度比 18億 8,711万円増の 93億 3,071万円、公共施設整備基金は、前年度比 8億 438万円増の 46億 9,232万円となった。また、こどもまんなか応援基金を新たに設置し、3億円を積み立てた。

ウ 令和5年度末の定額資金運用基金の現在高は、前年度末と同額の 2億 3,200万円となった。

エ 令和5年度末の基金総額の現在高は、165億 4,384万円で、前年度末と比較して、27億 9,476万円、20.3%の増となった。

表11 基金現在高の状況

(単位：千円)

基金の名称	4年度末 現在高	5年度積立額			5年度 取崩し額	5年度末 現在高
		新規	運用益	計		
1 財政調整基金	7,443,599	1,885,105	2,008	1,887,113		9,330,712
2 その他特定目的基金	6,073,478	1,498,251	2,413	1,500,664	593,019	6,981,123
(1) 職員退職手当基金	494,031	340,224	236	340,460	377,122	457,369
(2) 国際交流基金	92,210		36	36	300	91,946
(3) 公共施設整備基金	3,887,942	802,833	1,548	804,381		4,692,323
(4) ふれあい福祉基金	369,530	3,346	132	3,478	25,437	347,571
(5) 林業構造改善事業基金	36,289		14	14		36,303
(6) みどりと水のふれあい基金	100,000		40	40	40	100,000
(7) 災害対策基金	45,715	10,000	16	10,016		55,731
(8) 芸術文化奨励基金	3,355		1	1	230	3,126
(9) スポーツ振興基金	40,264	2,414	14	2,428	1,777	40,915
(10) 梅の里再生基金	39,271		15	15	5,987	33,299
(11) 森林環境整備等事業基金	74,393	18,644	29	18,673		93,066
(12) 新型コロナウイルス対策助け合い基金	74,251		29	29	38,126	36,154
(13) 吉川英治記念館事業基金	1,082					1,082
(14) こどもまんなか応援基金	0	300,000		300,000		300,000
(15) 介護給付費等準備基金	804,925	20,790	302	21,092	144,000	682,017
(16) 医学研究研修奨励基金	10,220		1	1		10,221
特定目的基金合計 A	13,517,077	3,383,356	4,421	3,387,777	593,019	16,311,835
定額資金運用基金 B	232,000					232,000 (210,170)
1 土地基金	200,000					200,000 (200,000)
2 その他	32,000					32,000 (10,170)
基金の総額 (A+B) C	13,749,077	3,383,356	4,421	3,387,777	593,019	16,543,835 (16,522,005)

注 5年度末現在高のうち、「定額資金運用基金Bおよび内訳」および「基金の総額C」欄の()内の数値は、現金の現在高である。

6 特別会計決算収支の状況

(1) 国民健康保険特別会計

- ア 決算額は、歳入が 142億 8,886万円（前年度比 0.3%の減）、歳出が 142億 1,611万円となった。歳入では、保険税が 24億 5,254万円（同 7.0%の減）、国・都支出金が 97億 2,236万円（同 0.2%の増）、一般会計繰入金が 19億 6,436万円（同 12.3%の増）となった。また、歳出では、保険給付費が 94億 8,103万円（同 0.4%の増）となった。
- イ 主要指標では、被保険者数が 27,803人（前年度比 4.7%の減）、世帯数が 19,211世帯（同 3.3%の減）、1人当たり保険税額（介護納付金分を除く）が 84,463円（同 1.5%の減）、1人当たり保険給付費等が 33万 8,905円（同 5.4%の増）となった。
- ウ 保険税の収納率は、現年分が 92.3%（前年度比 1.1ptの減）、滞納繰越分が 23.7%（同 5.4ptの減）、全体では 84.4%（同 3.9ptの減）となった。

(2) 後期高齢者医療特別会計

- ア 決算額は、歳入が 38億 2,629万円（前年度比 3.8%の増）、歳出が 38億 2,629万円（同 3.9%の増）となった。歳入では、保険料が 17億 6,517万円（同 3.5%の増）、また、歳出では、広域連合負担金が 35億 5,874万円（同 4.2%の増）となった。
- イ 主要指標では、被保険者数が 21,998人で、前年度比 4.3%の増となった。
- ウ 保険料の収納率は、現年分が特別徴収分 100.0%、普通徴収分 98.1%で、現年分全体では 99.2%、滞納繰越分が 25.8%（前年度比 0.7ptの減）となり、保険料全体では 98.4%（同 0.3ptの減）となった。

(3) 介護保険特別会計

- ア 決算額は、歳入が 110億 8,541万円（前年度比 4.1%の増）、歳出が 109億 5,894万円（同 4.8%の増）となった。歳入では、介護保険料が 24億 7,938万円（同 0.4%の増）、また、歳出では、保険給付費が 100億 3,529万円（同 3.0%の増）となった。
- イ 主要指標では、第1号被保険者数が 40,163人（前年度比 0.7%の増）、要介護認定者数が 6,631人（同 3.2%の増）となった。
- ウ 保険料の収納率は、現年分が特別徴収分 100.0%、普通徴収分 93.6%、現年分全体で 99.4%、滞納繰越分が 30.6%（前年度比 4.4ptの増）となり、保険料全体では 98.7%となった。

表12-1 国民健康保険特別会計決算収支（対前年度比較）

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
歳入総額 (A)	14,288,863	14,333,498	△ 44,635	△ 0.3
歳出総額 (B)	14,216,105	14,209,024	7,081	0.0
歳入歳出差引額 (A) - (B)	72,758	124,474	△ 51,716	△ 41.5

表12-2 後期高齢者医療特別会計決算収支（対前年度比較）

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
歳入総額 (A)	3,826,285	3,686,753	139,532	3.8
歳出総額 (B)	3,826,285	3,680,984	145,301	3.9
歳入歳出差引額 (A) - (B)	0	5,769	△ 5,769	皆減

表12-3 介護保険特別会計決算収支（対前年度比較）

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
歳入総額 (A)	11,085,405	10,651,914	433,491	4.1
歳出総額 (B)	10,958,937	10,459,456	499,481	4.8
歳入歳出差引額 (A) - (B)	126,468	192,458	△ 65,990	△ 34.3

7 下水道事業会計決算収支の状況

(1) 令和5年度の年間の有収水量は 13,396,262 m^3 で、前年度比128,447 m^3 減少し、有収率は前年度比 3.0ポイントの増となった。

また、計画区域面積に対する普及率が 91.6%となり、水洗化世帯は 63,411世帯、水洗化率は 99.1%となった。

(2) 収益的収支では、営業収益が 17億 9,582万円となり、下水道事業収益は 36億 6,844万円となった。

また、営業費用は 34億 3,445万円となり、下水道事業費用は 37億 680万円となった。

この結果、当年度純損失は、3,836万円となった。

(3) 資本的収支では、多摩川上流流域下水道建設事業負担金を支出したほか、御岳山事業区域での管きょ布設工事の実施等建設改良事業および企業債償還金等により、支出総額は、22億 4,414万円となった。

一方、収入から前年度同意分で当年度借入債等 1億 5,529万円を除いた額は、8億 727万円となり、不足する財源 14億 3,687万円は、損益勘定留保資金等で補てんし、建設改良費の未払金に未発行の企業債をあてることとした。

表13-1 下水道事業会計決算収支

(単位：千円、%)

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
収益的収支	収入	3,668,439	3,721,791	△ 53,352	△ 1.4
	支出	3,706,802	3,757,080	△ 50,278	△ 1.3
	差引額	△ 38,363	△ 35,289	△ 3,074	—

資本的収支	収入	962,557	693,000	269,557	38.9
	支出	2,244,143	1,891,857	352,286	18.6
	差引額	△ 1,281,586	△ 1,198,857	△ 82,729	—

注1 下水道事業会計の資本的収入額（前年度同意分で当年度借入債等の155,289千円を除く）が資本的支出額に不足する1,436,875千円は、損益勘定留保資金等により補てんし、なお不足する額については建設改良費の未払金に令和6年度発行の企業債をあてることとしている。

2 令和4年度の数値がマイナスの場合には、増減率を計算せず「—」とした。

表13-2 繰入金の状況

(単位：千円、%)

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
収益的収入		1,132,296	1,186,976	△ 54,680	△ 4.6
他会計負担金等（一般会計）		1,132,296	1,186,976	△ 54,680	△ 4.6
資本的収入		35,289	0	35,289	皆増
他会計補助金（一般会計）		35,289	0	35,289	皆増

8 モーターボート競走事業会計決算収支の状況

(1) 令和5年度のモーターボート競走事業の売上は、プレミアムG I 第12回クイーンズクライマックス競走、G I 開設69周年記念競走のほか、G III 競走4本などを開催し、開催日数168日で818億3,455万（1日平均4億8,711万円）となり、前年度に比べ14.8%（1日平均13.4%）の増となった。

また、1日平均の多摩川本場入場者数は1,755人となり、前年度に比べ1.4%の減となった。

(2) 収益的収支では、営業収益が14.7%増の870億288万円となり、事業収益総額は14.6%増の870億4,316万円となった。

また、営業費用は、14.5%増の806億6,389万円となり、事業費用総額は他会計への繰出金41億円を含め、856億8,568万円で16.0%増となった。

この結果、令和5年度は、13億5,749万円の純利益となった。

(3) 資本的収支では、支出は、投票機器の購入等建設改良費で、支出総額は2,343万円となった。

財源については、全額損益勘定留保資金等で補てんした。

表14-1 モーターボート競走事業会計決算収支（対前年度比較）

（単位：千円、％）

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
収益的収支	収入	87,043,162	75,976,064	11,067,098	14.6
	支出	85,685,676	73,866,190	11,819,486	16.0
	差引額	1,357,486	2,109,874	△ 752,388	△ 35.7

資本的収支	収入	0	0	0	—
	支出	23,431	90,741	△ 67,310	△ 74.2
	差引額	△ 23,431	△ 90,741	67,310	—

注1 資本的収支の不足額23,431千円は、損益勘定留保資金等で補てんした。

2 令和4年度の数値がマイナスの場合には、増減率を計算せず、—とした。

表14-2 繰出金の状況

（単位：千円、％）

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
他会計繰出金		4,100,000	2,565,449	1,534,551	59.8
一般会計		3,600,000	2,565,449	1,034,551	40.3
病院事業会計		500,000	0	500,000	皆増

9 病院事業会計決算収支の状況

(1) 令和5年度の1日平均入院患者数は344.7人で、前年度比17.5人の増、1日平均外来患者数は1,095.1人で、前年度比0.3人の減となった。

また、病床利用率（一般・精神）は66.2%で3.9ポイント増となった。

(2) 収益的収支では、医業収益が6.5%増の163億727万円となり、病院事業収益は1.4%の減となった。

また、医業費用は、材料費等の増加により4.7%増の179億9,504万円となり、病院事業費用は5.7%の増となった。

この結果、令和5年度は、5億7,529万円の純損失となった。

(3) 資本的収支では、病院施設整備においては、新病院本館の内装工事、設備工事を進め7月末に竣工し、11月に開院した。医療器械については、磁気共鳴画像診断装置、X線コンピューター断層撮影装置などの更新や手術支援ロボット、ハイブリッド装置などの導入を行った。情報システムについては、電子カルテシステムなどの更新、手術室映像システムなどを導入し、支出総額は、115億3,481万円となった。

一方、収入は、97億8,476万円となり、不足する財源17億5,005万円は、損益勘定留保資金、建設改良積立金取崩し額等で補てんした。

表15-1 病院事業会計決算収支（対前年度比較）

（単位：千円、％）

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
収益的収支	収入	18,429,692	18,698,758	△269,066	△1.4
	支出	19,004,985	17,982,632	1,022,353	5.7
	差引額	△575,293	716,126	△1,291,419	△180.3

資本的収支	収入	9,784,755	5,333,908	4,450,847	83.4
	支出	11,534,809	6,417,643	5,117,166	79.7
	差引額	△1,750,054	△1,083,735	△666,319	—

注1 資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,750,054千円は、損益勘定留保資金等で補てんした。

2 令和4年度の数値がマイナスの場合には、増減率を計算せず、—とした。

表15-2 繰入金の状況

（単位：千円、％）

区 分		令和5年度	令和4年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
収益的収入		739,462	729,403	10,059	1.4
他会計負担金等（一般会計）		739,462	729,403	10,059	1.4
資本的収入		943,265	272,165	671,100	246.6
出資金等（一般会計）		443,265	272,165	171,100	62.9
補助金（モーターボート競走事業会計）		500,000	0	500,000	皆増